

資料編報告書 第10章 主なご意見の反映状況

地下水環境に関する背景【前書き】

- ・国際的な状況
水資源について「貯留量（ストック）」と「輸送量（フロー）」の説明を追加
- ・国の状況
- ・これまでの都の対応

10.1 東京の地下水位と地盤沈下の状況等に関する検証【検証結果】

- (1) 東京の地下水位と地盤沈下の状況
- (2) 地下水の実態把握に向けた調査研究
 - ア. 地下水流動系解明
 - イ. 地下水揚水等の影響予測 説明内容を修正
- (3) 考察

10-2 持続可能な地下水の保全と利用の実現に向けて【今後の取組の方向性】

- (1) 地下水実態把握の推進
 - ・東京の地下水については未解明な点が多い、研究には時間がかかる事
- (2) 「地下水ガバナンス」へ向けたステップ
 - ・科学的な知識（科学知）の発信だけではなく、事業者や住民が普段の生活や経済活動の中で得ている生活知、経験知についても収集し、共有
 - ・ステークホルダー相互の地下水リテラシーの向上について
 - ・合意形成のプロセスには時間がかかる事
- (3) その他（非常災害時における地下水利用）

10-3 おわりに

- ・地盤沈下については負の面もあるが、都が正面から対策に取り組んできた点について、ポジティブな書きぶりの形でまとめた方が良い。
- ・従来の地下水管理から、都として新たなステージに移行していくことを強調した方が良い。